

前橋市全市域デマンド化研究会 中間報告（概要）

近年における前橋市の公共交通をめぐる諸状況を踏まえ、全市域にデマンド運行型の公共交通手段の導入を図るという視点から、その骨子となる基本方針や進め方について、研究会における議論をもとに、中間報告としてとりまとめた。

○実現に向けた目標

>>>快適で暮らしやすく活力のあるまちづくり

前橋市公共交通マスタープランに掲げる「持続可能な公共交通体系（ネットワーク）」を実現することを基本に、移動困難者並びに公共交通不便地域の解消を図ること。

○基本方針

- ① 移動困難者対策や、公共交通不便地域の解消など公共交通による移動手段を喫緊に必要としている市民サービスの確保に軸足を置くこと。
- ② 民間交通事業者を最大限活用するという枠組みの中で、既存の鉄道・バス・タクシーとの共存共栄と、適切な役割分担を目指すこと。
- ③ 持続可能な公共交通ネットワークづくりに向けて、地域の実情に応じた輸送力を担保するとともに、市財源の確保はもとより、適正な運賃設定など利用者の応分の費用負担を考慮すること。

○実現に向けた戦略

デマンド方式による乗合タクシーを手法の中軸に据え、実現性及び持続可能性の高い社会実験を計画して課題を抽出し、その対応と導入効果の検証に道筋をつけ、本格運行を目指す。

- ① 移動困難者対策については、利用者を特定するなどサービスの対象者を限定する。
- ② 公共交通不便地域の解消については、既存の公共交通機関への影響を考慮し、地域を限定するなど既存公共交通とネットワークする区域制を採用する。
- ③ 既存の公共交通機関を補完する運行計画を検討する。
- ④ 利用者の負担割合については、既存の公共交通機関の運賃体系を十分踏まえた上で、そのあり方を検討する。

キーワード

持続可能な公共交通体系（ネットワーク）の実現、民間交通事業者の活用、鉄道・バス・タクシーとの共存共栄と適切な役割分担、利用者の応分の費用負担、利用目的の明確化、輸送力の担保、財源の担保